

## ふじさわSDGs共創パートナー取組実績報告書

2022年度の実績を次のとおり報告します。

報告日	2023年5月29日
-----	------------

企業・団体名	 公益財団法人 <b>藤沢市みらい創造財団</b>
--------	---



No	具体的な取組内容	2023年度の取組予定
1	<p><b>【笑顔あふれるみらいを応援します。】</b></p> <p><b>【SDGsの理解促進及び実践】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちを対象に、フードロスに関連するイベントの開催や省資源に関する声かけなどSDGsに対する意識啓発、理解促進を図る体験型事業等を開催しました。</li> </ul> <p><b>【誰もがスポーツや芸術・文化に触れる機会の提供と環境整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツボランティア養成講座やインクルーシブスポーツ体験講習会などを開催しました。</li> <li>関連団体の指導協力のもと全世代を対象としたスポーツ教室やイベント、障がいのある方を対象としたスポーツ教室を開催し、ニーズに応じたスポーツを楽しむ機会を提供しました。また、障がいのある方も共に参加できるパラスポーツ事業を実施しました。</li> <li>市民オペラや藤沢市展など、年齢、障がいの有無等を問わず、すべての方が芸術・文化の鑑賞や体験ができる機会を提供しました。特に、芸術文化に触れる機会の少ない若年層を対象としたU25（25歳以下）の安価な席設定を設けることにより、鑑賞の機会を推進しました。</li> <li>貧困の連鎖による体験の格差を無くすことを目的に、子どもを対象とした事業において就学援助世帯の参加費の大幅な減額（1/3負担）を行いました。</li> <li>財団主催の市民会館ホールを使用するすべての有料公演において障がい者割引制度を設け、質の高い芸術鑑賞の機会を提供しました。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様性の理解促進を図る「発達障がい等を理解する研修会」を、財団職員以外も対象として開催しました。</li> </ul>	<p><b>【SDGsの理解促進及び実践】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童クラブ在籍児童へSDGsの取組が持続するよう、その理解を深める機会の創出と一人ひとりの習慣となる活動を継続して行います。</li> <li>フードロスや貧困について考える「もったいない」を合言葉にした食品の無料配布事業を継続します。</li> <li>青少年事業において、広く浅い取組のSDGsプロジェクトと、より深い理解のSDGsチャレンジ事業と両輪で事業を行います。</li> <li>少年の森において、炊事用の薪やキャンプファイア、園内テーブル・椅子などに倒木、間伐材を使用して資源活用するとともに、ナラ枯れ等の場所へ森の再生を目的に植樹会を開催します。</li> </ul> <p><b>【誰もがスポーツや芸術・文化に触れる機会の提供と環境整備】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、各世代を対象としたスポーツ教室（288教室）の開催や関連団体・ボランティア等の協力を得た様々な年代の方に参加していただけるスポーツ大会の運営に努めます。また、誰もが文化芸術に触れあえる事業を展開して参ります。</li> <li>共生社会の実現を目指した事業を継続するとともに、新たにスポーツボランティアの「リーダー」を養成する講習会を実施します。</li> <li>参加者減額（割引）制度、障がい者割引制度の継続・拡充を図り、幅広い方々が事業参加できる環境整備に努めます。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、障がいのある方やLGBTQ等、多様性を理解する研修や事業を行い、ジェンダー平等の実現に取り組みます。</li> </ul>

No	具体的な取組内容	2023年度の取組予定
2	<p>【全ての職員が安全で安心して働くことのできる職場環境をつくります。】</p> <p>1 組織全体の労働安全衛生向上組織において、「メンタルヘルス分科会」に加え『フィジカルヘルス分科会』を新たに組織しました。この分科会において、職員の健康づくり、体力向上を目的とした「みんなで朝ラジ!～ラジオ体操啓発事業～」を企画し、希望者を対象にZoomを活用したラジオ体操の正しい動作習得の研修会の開催、更には財団全職場において毎朝のラジオ体操を開始しました。</p> <p>2 相談体制の拡充 メンタルヘルスに関する相談について、産業医による対面での相談に加え、令和4年度から外部機関での相談窓口を新たに設置し、電話、E-mail等で気軽に相談できるよう体制を拡充しました。</p> <p>3 研修会の開催 協力団体を含めた施設に関わる多様な職員を対象として、産業医による「心と身体の健康」をテーマとした研修会を開催しました。</p>	<p>1 みんなで朝ラジ! Part2～ラジオ体操&amp;簡単筋トレ～の実践 ラジオ体操第2の正しい動きの解説と実技、また同程度の短時間でできる簡単な筋トレの解説と実技について、オンラインによる研修を実施します。</p> <p>2 「健康のための一歩を踏み出そう!」をテーマに健康な職場づくりを推進 仕事や私生活の中での健康を意識した行動や活動のヒントとなるリーフレット、趣味の仲間募集などの印刷物配布により、健康に関する意識啓発を行います。</p> <p>3 働きやすさだけでなく、働きがいも充実できるようにワークライフバランスの環境を整えます。</p>
3	<p>【資源の節約など、地球環境に配慮した取り組みを進めます。】</p> <p>・対面で行わなければならない特別の理由がある会議を除きオンライン会議を推奨し、会議資料の電子データ化による紙資源の使用縮減、職員移動の削減による業務の効率化、車両使用の削減によるガソリン等の資源節約等を実践しました。</p> <p>・執務室等の照度調整、スポーツ施設のシャワーに節水装置を設置、グリーンカーテンや葎簀の設置により空調の効率化を図り、光熱水量の削減を行うとともに、クールビズ、ウォームビズの推進によりエネルギーの削減を図りました。</p> <p>・各職場において定期的な施設周辺清掃日を設けて職場周辺の清掃活動を実施しているほか、事業やイベント実施時に使用している公園や会場、ビーチなどの清掃活動をボランティアの協力を得ながら実施しました。</p>	<p>・更なるICT化やオンライン会議の推奨を継続し、業務の効率化と資源の節約を図ります。</p> <p>・各職場において定期的な施設周辺清掃日を設け職場周辺の清掃活動を継続実施するとともに、事業の開催場所やビーチなどの清掃活動を行います。</p> <p>・次回湘南藤沢市民マラソン大会において、引き続きコース等の清掃活動を行います。</p>